

学校通信

9

2023 SEP.

第244号

学校生活における大切なお知らせです

学校長からのメッセージ

8月、前期末試験も終了し、みなさんはどのように過ごしておられますか？

前期で私が印象に残っているエピソードを二つ紹介します。

クラス最終日、ある生徒が、車いすから立って補助具を用いて一人で歩いたことでクラスみんなは拍手喝采。その流れから病気の経緯などをお母様から聞きました。

彼は高校2年の時に大病を患い、車椅子生活を余儀なくされ、一時は左半分が動かず、笑うことも泣くこともできなくなったこと、でもお母さんが話かけていた内容は、すべて覚えていることにクラスメイトは大変心を動かされました。そこで、「聞き書き：足音プロジェクト」(※)で彼の人生を聞かせてもらうことが決定しました。

後日、校内のエレベーターが点検のために途中から使えなくなった日の事。リハビリで階段の練習をしていた彼は、自力で階段を下りることを決心しました。ですが、実際に下りるのは初めてでした。お母様とそして安全のために大きな背中のお先生が目の前を一緒に下りてくれました。複数の教員が車いすや補助具をもち、さりげなく行動できる姿と彼の頑張りを見ていた人たちもとても感動したと聞きました。

二つ目は本校のオープンスクールで中学生や保護者の前で話をした生徒の言葉です。「中学生の頃は『死にたい』と思っていた。でも今生きているのが楽しい。こんな日が必ず来るからあきらめないで」と。

誰でも自分の歴史があり、生徒の多くは大きな荷物を抱えています。それぞれの事情や悩みを知ることは多くありませんが、その背景を少しでも想像することでお互いに優しくなれるでしょう。目に見えているものだけではなく、目に見えないものに目を向けられる私たちでありたいと思います。

※「聞き書き：足音プロジェクト」 連携している「ひらく学校」で行っている活動。人の人生を聞かせてもらい書き残し、文集にしている。生徒ボランティアがこれを行っている。



(校長 鍛治田 千文)

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」

(コリントの信徒への手紙2 4章18節)





今月の聖句

あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ」

(ルカによる福音書 4章8節)

聖書この言葉は、イエスが悪魔から誘惑を受けて、それを退けられたときに語られたものです。悪魔はイエスに、「あなたが王になれば、人々はあなたに従い、神様を信じるようになるでしょう」と誘惑しました。人々がイエスに従うようになる、そして神様を信じるようになる、それは一見良いことのようにも思えます。そうなれば、イエスが十字架にかかる必要もなくなるかもしれません。

そんな一見良いことのように見えることを、悪魔は囁いてきます。私たちの人間社会で当たり前だと思われること、誰もが素晴らしいと思うようなことを、「あなたがやりなさい」と勧めてくるのです。けれども、人間が考えつかないような、想像をはるかに超えるやり方で、神様は人々の救いを実現してくださるお方です。私たち人間が考え付く良いことは、神様の御心とは違うことがあるということを忘れてはなりません。本当に正しいことを行うために、私たちは神様にいつも祈っていくものでありたいと思います。

(福島義也牧師 日本基督教団河内長野みぎわ教会)

